

平成29年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（東部会場）】

1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2 日時・場所

日時：平成29年6月10日（土）13：00から15：40

場所： 国府町コミュニティセンター（中央公民館）

3 日程

12:30 13:00 13:30 13:40 15:40

受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分科会	閉会
----	--------------	----------	-----	----

4 参加対象

○東部地区 小・中学校 各単位PTA役員2名程度（毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい）

5 内 容

(1) 開会行事・施策説明

○主催者あいさつ

○施策説明：鳥取県教育委員会 東部教育局 社会教育担当 社会教育主事 広富 隆史 氏
鳥取県教育委員会 人権教育課 社会教育担当 係 長 寺谷 孝志 氏

(2) 分科会

■第1分科会

- テーマ：年間行事や企画の広報紙での取り上げ方
- 発表者：岩美町立岩美中学校 PTA、鳥取市立若葉台小学校愛育会、学校法人鶏鳴学園青翔開智中学校 FTA
- 講師：新日本海新聞社 取締役専務執行役員 営業事業担当兼営業局長 田中 仁成 氏
- 内容：3 PTAの実践発表と新聞作成のプロからの視点から講話いただき、実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読みごたえのある広報紙への改善点等をわかりやすく教えていただきます。

■第2分科会

- テーマ：PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について
- 講師：島根大学保健管理センター 教授 荒川長巳 氏
- 内容：PTA 役員になると、会議等で司会や進行役になる事が多々あると思います。立場のちがう人達から意見を聞き出したいのに、いつも発言力がある人が目立ち、一言も意見を発さない人がいて、なかなか思うように会議が進まない・・・そんなことはありませんか？ファシリテーションとは、集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるように支援することをいいます。PTA を円滑に進めるために、ファシリテーション技術を学んでみませんか？

■第3分科会

- テーマ：「この年頃にありがちなこと～子育て（親育ち）で大切にしたいこと～」 人権教育プログラムより
- ファシリテーター： 県教育委員会人権教育課より派遣 鳥取県人権アドバイザー 佐藤 敦子 氏
- 内容：子供の成長に伴って起こりがちな場面をもとに課題を整理したり対応を考えたりすることをとおして、子どもにとって最も良いことは何かということについて一緒に考えてみましょう。

■第4分科会

- とっとり子どもサミット～インターネット編～
- 講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進担当 社会教育主事 河合淳一 氏
※自身のお子様ワークショップに参加される方を優先にします。
※子どもたちが主体となる為、大人は見学のみ参加となります。

主催：鳥取県PTA協議会

平成29年度 鳥取県PTA指導者研修（東部地区）参加アンケート集計

平成29年6月10日 国府コミュニティーセンター

1. 学校区分 小学校 51・中学校 24・その他 3 回答数 76
2. 参加分科会 第1分科会 17（広報紙） ・ 第2分科会 31（ファシリテーション）
第3分科会 24（人権教育） 第4分科会 4（子どもサミット）

3. 分科会について

(1) テーマについて 良い 57 ・ だいたい良い18 ・ あまりよくない 1

(2) 研修した内容を各学校で活用しようと思いますか

ぜひ活用したい 30 ・ 今後検討したい 43 ・ 活用は難しい 1

【ぜひ活用したい 理由】

(第1分科会)

- ・ 具体的な内容だったので、すぐ取り入れられそうだったから（第1分科会参加者）
- ・ 広報部付きの副会長であり、今の時分はレイアウトなどについて話し合いをしている時であったため
- ・ すぐわかりやすく説明などしていただき、大変参考になりました
- ・ もっとPTA主体企画やPTAの本音を引き出すものがよいと思いました
- ・ 当学校の広報誌は、PTA広報というより、学校新聞となっているため、賞をもらうようなPTA広報にはなりえないという現状ですが、紙面づくりの面では、大変参考になりました
- ・ 写真の選び方について、レイアウトについて、勉強になりました
- ・ 事例をもとに具体的に広報誌づくりのコツを教えていただいたから「PTAの本音」が伝えられる広報誌を考えたい

(第2分科会)

- ・ 今まで考えていなかったことについての話があり、次の会議で実践したいと思える内容だったため
- ・ バズなど意見を引き出す技術、参考になりました
- ・ 議事進行の技術は、大変有意義でした
- ・ 意見が出やすい、コミュニケーションができる・ためになった
- ・ 会議の進め方がスムーズになると思います・皆の意見が出やすくなるなあと感じた
- ・ トップダウン型ではなく、ファシリテーション型という新しい時代にあった意思決定はすごくいい
- ・ 色々参考になりました・そのために研修に来ました
- ・ やはり会議は重要なので、有意義なものにしていきたいので、活用したいいい内容でした
- ・ 以前からファシリテーションについて学びたいと思っていたので、良い機会でした
- ・ 校内の会議の進行方法に悩んでいたの、参考にしたい

(第3分科会)

- ・ 参加型は、考えるきっかけになりやすいと思うため
- ・ みんなで話し合うワークショップは棚しかったです。ありがとうございます
- ・ テーマが日常起こりうる事で、様々な意見が聞けたから

(第4分科会)

- ・ ネットに関して、子どもの達の生の意見が発表されていていいと思いました。グループワークは特にいい

【今後検討したい理由】

(第1分科会)

- ・ 小規模校なので、難しいところはありますが、参考にしたい
- ・ 役員数も少なく、なかなか難しいとは思いますが、取り入れるところは取り入れていきたい
- ・ 各役員の決め方（若葉台を参考）
- ・ 広報誌の作成について、レイアウトの仕方が参考になりました。他校の広報誌は、活動報告が中心で、コンクールは無縁ですが、写真の掲載の仕方は、参考にしたいです

(第2分科会)

- ・ 会議が定例報告会となっているので、議題が出た時に活用したいと思いました
- ・ 会議な話し合いなど、時間がかかるため活用したい
- ・ 仕事、家庭の行事が合えば・最後は参加者が打ち解けて話ができるようになった

(第3分科会)

- ・ グループワークのやり方が初めてで面白かった・活用したい。他校や他地域の方と交流した活用をしたい
- ・ 勉強にもなるし、他の方とのコミュニケーションがとれるいいワークショップでした
- ・ 今後活用できるなら活用してみたい、検討をしたい・内容がよい・いろんな人の意見が聞けて良かった

- ・たくさんの意見があることに気づいた・子どもの気持ちを改めて考える良い機会になる
- ・意見を出しやすい雰囲気を作り出すことを意識したい
(第4分科会)
- ・子どもとする活動なので、サミットを開こうと思うと準備が大変なため。会の進め方などは参考になった

【活用は難しい理由】

(第1分科会)

- ・例年A4表裏1枚の広報誌を年2回作成しているが、保護者の負担と予算の都合上、冊子での広報誌が作れないのが現状です

4. 今後、研修したい内容があれば記入して下さい

- ・親同士のコミュニケーションの取り方（子どもと同様親（大人）もコミュニケーションの取り方が上手にできない）
- ・障害のある子（身体・学習）に対しての親と子、親と先生との対応や行動について
- ・PTAの保護者、巻き込み力を高める取り組み（負担も少なく）
- ・メディア活用、Youtube との関わり・改正個人情報法・PTA とは？
- ・効率的な収益のあげ方、補助金、助成金交付のもらい方
- ・第2弾（第2分科会）・ファシリテーション研修また受けたいです
- ・子育てについて・広報誌の取り組みを続けて下さい
- ・部活動（運動）することのメリット・デメリット
- ・子ども目線で不登校、いじめのない学校づくり、友達関係づくり

5. 研修会全体を通して、お気づきの点など

- ・会場が寒い4件（第1分科会）・道具（備品）がないレーザーポインター（第1分科会）
- ・マイクのトラブルが多すぎだった（第1分科会）
- ・時間が限られているため、少し進行が速かった。グループで意見を出し合うのがよかった（第2分科会）
- ・大変有意義でした。他の単P役員の方との話し合いの機会、ありがとうございました（第2分科会）
- ・事務局には手間かもしれないが、名札がほしい（第2分科会）・ファシリテーターは、難しいなあ
- ・第2分科会は、会場が狭い。グループワークが近すぎてうるさい。できれば、会場が広ければ良かった。
- ・ビジネス向けの研修だったので（そもそもPTAで合意形成型の会議は少ないです）
もっとPTAの会議の実態を踏まえた内容になれば、もっと良い研修になると思う（第2分科会）
- ・各校2名程度ではなく、もう少し人数を増やしてはどうか
- ・学校に持ち帰り、今後の活動に生かしていきたいです（第4分科会）
- ・ありがとうございました（2件）
- ・小・中学校の班分けであったが、発達段階に合わせた課題を掘り下げ、より具体的に改善、実施していくためには、小中別が良かったのではないか。大学生が各班に入っていたのは良かったと思う。楽しく温かい雰囲気づくりは、話しやすくなったと思う。企画から準備、運営と大変お世話になりました。（第4）